

第4回
新潟生命歯学部第77回卒
同期会 in 北海道
(小樽市)

平成29年6月17日(土)、今回の標題にあります小樽市・宏楽園に胸を弾ませて同期会に33名が集結しました。

松井智幸先生の司会で幕を開け、恒例の研修会では、筆者が拙い演者を務めさせていただきました。歯周病と全身疾患、特に糖尿病と循環器内科(カテーテル治療の現状)についてお話をさせていただきました。

総会に移り、藤井一維副会長の挨拶があり早速議題へ。事業報告と協議事項を参加者の協力があり、円滑に終了することができました。

一昨年から体調を崩しながらも、今回の同期会に元気な姿で参加してくれた武者篤先生に、名嘉真副会長よりお見舞いを手渡し、これからも元気に過ごしてもらいたいと全員が願っていました。

場所を移して、宏楽園の素晴らしい庭園をバックに写真撮影を行い同期会へ。大久保恒康先生が、絶妙&軽快なトークで最後まで同期会をリードしてくれました。矢口享史先生より、北海道での同窓会開催に歓迎の挨拶があり、藤井副会長による乾杯の発声。そして自己紹介・近況報告&ご当地プレゼント交換。これが実に面白い。誰もがいつ自分の番に回ってくるのかと固唾を飲んで待っています。予め番号札が配られていて、自己紹介と近況報告があり、

司会者が持っている札を引く。引いた番号札を持っている人に、ご当地プレゼント(1,000円程度を基準に自由設定)を手渡す。これを人数分最後まで繰り返す。ご当地プレゼントが大吟醸の日本酒やご当地ラーメンやうどんだったりするからまた楽しい。

次に、本年4月に藤井先生(歯科麻酔学講座教授・本学理事)が新潟生命歯学部長にご就任されたお祝いです。矢口享史先生のご挨拶の中にもありましたが、机を共にして勉強をした私たち同期の誇りであると。同期会を代表して兼原陸先生より、チョイスに最後までご苦労した、記念のボールペンを送らせていただきました。藤井学部長には誉れ高き本学の発展のために一段と奮闘していただきながらも、ご健康にはくれぐれもご留意していただきたいと願うばかりです。

帰路につきながらも、同期会でつながっているLINEで笑いあり、涙ありの楽しいトークに、帰宅してから就寝時まで余韻を楽しませてくれました。

今回の企画・準備から開催までの運営を進めてこられました、北海道の幹事の先生方のご苦労に深謝申し上げます。おかげで全員が、同期の絆を心に刻むことができました。(水沼秀樹 記)

